

人工膝関節全置換術を受けられる方へ

<予定入院期間 31日間>

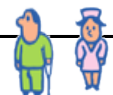
1枚目/2枚中

日数	入院当日	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2日目
治療・処置			数時間、酸素マスクをつけます。検温をこまめに行います。場合により自己血の輸血をします。心電図モニターをつけます。 	手術創に入っている管を抜きます。場合により自己血の輸血をします。手術の足は枕で拳上します。	医師が朝9時頃に創を診ます(抜糸まで毎日です)
薬・点滴	薬剤師が手術当日の点滴について説明に伺います。	朝9時頃から点滴を開始します。指示された内服薬があれば7時までに内服します。 	水分補給のための点滴が続きます。抗生物質の点滴もあります。適宜鎮痛剤を使って痛みをコントロールします。 	点滴は日中で終了になります。抗血栓薬が開始になります。 	手術創や患部の痛みに応じて鎮痛剤の使用を検討いたしますので、痛みがあればお知らせください。 
検査	血液検査があります。 		ベッド上でレントゲン撮影をします。血液検査のために採血をします。 	血液検査のために採血をします。 	
安静度	歩行は制限がありません。歩行器や車イスが必要な方はお申し出ください。 		ベッド上で安静です。手術創に入っている管が抜けないう、寝返りは看護師がお手伝いします。	創の所に入っている管が抜けたら車イスに乗ることができます。看護師がお手伝いします。	痛みの状況を見ながら歩行器で歩きます。歩く時は看護師と一緒に歩きます。
食事	21時以降は食事はとれません。飴やガムも食べないで下さい。	食事は摂れません。水分制限がありますので、看護師の指示に従って下さい。 	食事は摂れません。麻酔から覚めたら水分を摂ることができますが、看護師の指示にしたがってください。	朝食から食事が摂れます。 	
清潔	シャワーを浴びて体を清潔にします。場合により手伝います	一人でシャワー浴ができる方は起床後、浴びていただきます。9時までに手術着に着替えてください。 		体を拭いて寝巻に着替えます。	1日おきに体を拭きます。シャンプーも適宜お手伝いいたします。 
排泄		手術室に行く前に、トイレを済ませます	尿の管が入ったまま病室に戻ります。	手術創に入っている管が抜けてから、車イスでトイレに行けます。尿の管は状況を見て抜きます。	看護師の付き添いでトイレに行けます
説明	看護師より入院生活・手術の流れについて説明が麻酔科医師・手術室看護師より説明があります。		主治医より手術の結果等の説明があります。 		
その他	リハビリ室でリハビリをします。	医師が手術する足に間違いのないように印をつけます。入れ歯、コンタクトレンズ、アクセサリーなどは必ず外して下さい。手術室に行く前に、圧迫靴下を履きます。		膝に熱をもちますので、冷やします。圧迫靴下を入院期間中は履いていただきます	リハビリをベッド上で再開します

人工膝関節全置換術を受けられる方へ

<予定入院期間 31日間>

2枚目/2枚中

日数	手術後3～7日目	手術後8～14日目	手術後15～21日目	手術後22～29日目(退院日)	
治療・処置	医師が朝9時頃に創を診ます (抜糸まで毎日です) 足の枕は4日目以外外し 創や足の痛みに応じて鎮痛剤を検討いたします。 貧血の薬が処方される場合があります	抜糸は手術後14日目頃、 回診時に行います。 			
薬・点滴					
検査		手術後14日目に血液検査があります 	手術後21日目に血液検査とレントゲンがあります。 		
安静度	歩行状況により、一人で歩行器で歩けます 		看護師の付き添いで杖で歩けます。 	一人で杖で歩けます。 (個人差はあります) 	
食事					
清潔	医師の許可が得られれば、シャワー浴ができるようになります。初回は看護師がお手伝いします。	一人でシャワー浴が行えます。 			
排泄	日中は歩行状況に応じて一人でトイレに行けます。夜間は看護師が付き添います。	夜間も一人でトイレに行けます。 			
説明			主治医より退院についての説明があります。 看護師より退院後の注意点に関する説明があります		
その他	状況に応じてリハビリ室でのリハビリとなります。	歩行器でリハビリ室まで行きリハビリとなります。	包括ケア病棟へ移動し、退院に向けてリハビリや準備を進めていきます		

内容に変更がある場合は、その都度ご説明いたします。